

豊かな自然がつむぐ壮大な紅葉美

東福寺



秋の特別拝観

通常の拝観では見ることのできない秘宝が公開される秋の特別拝観。
今回は、国宝の三門二層内陣をはじめ、
十六羅漢像などを間近で見るができる。

三 門

現存する三門の中では最古にして
最大の東福寺三門(国宝)。
楼上内部は鮮やかな極彩色溢れる
天上世界が広がっている。



十六羅漢像

三門内陣の脇に連なる十六羅漢像。
写実的で迫力あるその姿は、
天井画のきらびやかさと相まって、
見る者を圧倒する。



龍吟庵

現存する方丈建築としては日本最古の
ものとして国宝に認定されている方丈。
昭和造園の名匠 重森三玲による
枯山水庭が幽玄の世界へ誘う。



大明国師座像

大明国師の容貌を極めて忠実に
再現したといわれる座像。
昭和の修理の折り、像の体内から
数多くの胎内納入賓が発見された。



東福寺

(とうふくじ)

MAP P4・L-16 地図は全体マップ(P4-5)を参照

願いが込められた名前の由来

臨済宗東福寺派の大本山、東福寺。その名前は、摂政 九条道家が奈良で最も大きなお寺である東大寺と比べ、そして当時最も栄えていた興福寺になぞらえようとの念願で、一字ずつ頂いてつけられた。

お寺は嘉禎2年(1236)に工事がはじめられ、19年後の建長7年(1255)に完成したが、元応元年(1319)、建武元年(1334)、延元元年(1336)の相次ぐ火災のために大部分を焼失した。その後、一条・九条両家と足利將軍家の手厚い庇護を受けて復興工事が進められ、延元の火災から実に20余年を経て、再び偉観を誇ることになる。

- 📍 京都市東山区本町15
- ☎ 075-561-0087
- 🕒 9時～16時(11月は8時30分～16時30分)
- 🚶 無料
- 💰 400円※特別拝観時は800円
- 🕒 30分
- 🚶 JR東福寺駅より徒歩10分

■ 夜間ライトアップ 期 間:10月29日(土)～11月7日(月) 拝観料:800円

り、訪れる人の心を癒してくれる。この龍吟庵はもともと東福寺三世の無関普門の住房跡だった。方丈を囲む南・東・西の三つの庭はいずれも昭和の造園家 重森三玲によって造られたもの。特に西庭は、黒白の砂と竹垣によつて、海中の龍が天に昇る様が表現されている。

そして、寺には豊かな自然も残されており、四季折々の美しい表情を見せてくれる。中でも、通天橋から見下ろすことのできる溪谷 洗玉澗(せんぎよくかん)を彩る約2000本の紅葉はまさに絶景。その幻想的な紅葉の海は、すべての人を魅了するに違いない。

また、東福寺は、金剛二力士像の釈迦如来像など、数多くの彫刻品が所蔵されていることでも知られる。さらに、南宋時代の臨済宗の高僧である無準師範を描いた肖像画は、その後の肖像画技法に大きな影響を与えたとして国宝に認定されている。

境内には、訪れる人を圧倒するダイナミックな造りが特徴の三門(国宝)や、現存する最古の禅堂(重文)など貴重な建造物が数多くある。

三門とは「三解脱門」の略で、涅槃(ねはん)に達するために通らなければならない門とされている。かつては南・東・西に三つの大門が造られたが、後に中央の大きな門と左右の小さな門が連なる三門形式が生まれた。大仏様を基本としながら、細部に禅宗様を取り入れた造りは、力強い室町建築の特徴を表している。

東山山麓の月の輪と呼ばれる景勝地に建てられた名寺 東福寺。広い境内には自然の溪谷があり、そこに架けられた通天橋からの眺めは、見る人の言葉をなくすほどの美しさ。また、臥雲橋から見る景色も絶景と誉れ高い。

大胆で繊細、日本の美意識が誘う幽玄の世界

永観堂

(えいかんどう)

MAP P4・O-9 地図は全体マップ(P4-5)を参照

古今集で詠われた幻想的な紅葉の名所

永観律師が入山して念仏を広めたことから永観堂と呼ばれるようになった禅林寺(正式名)。東山の豊かな自然と融和した回廊を歩くと辿り着く本堂には、日本では珍しい首を左後方に向けておられる「みかえり阿弥陀」が安置されている。秋の紅葉は古今集でも詠われたほど美しく、今でも“モミジの永観堂”として親しまれている。

- 📍 京都市左京区永観堂町48 📞 075-761-0007
- 🕒 9時～17時(受付は16時まで) 🏠 無休
- 💎 600円※小中高生400円
- 🚗 20台(無料)※11月1日(火)～11月30日は一般車両は使用不可
- 🚶 岡崎公園駐車場より徒歩5分(075-761-9617)

■ 夜間ライトアップ

期 間:11月8日(火)～11月30日(水)
時 間:17時30分～21時30分(受付は21時まで)
拝観料:600円

■ 秋の特別寺宝展

期 間:11月1日(火)～11月30日(水)
時 間:9時～17時(受付は16時まで)
拝観料:1000円※小中高生600円

紅葉ライトアップ

秋の京都の見どころは、まちを紅く染める紅葉。昼とは違う、幻想的な世界が広がるライトアップ情報をご紹介します。

圓徳院

(えんとくいん)

MAP P4・M-12 地図は全体マップ(P4-5)を参照

豊臣秀吉の妻、北の政所ねねの住まいだったことで知られる圓徳院。秀吉との思い出深い伏見城の化粧御殿前庭が移築された境内は、彼女の人格をあらわすような穏やかで優しい雰囲気包まれている。本堂にはきらびやかで美しい長谷川等伯の「冬の絵」や、ダイナミックなタッチで描かれた赤松燎画伯の「白龍」が飾られている。

- 📍 京都市東山区高台寺下河原町530 📞 075-525-0101
- 🕒 10時～17時 🏠 無休(法務の場合、休み有)
- 💎 500円
- 🚶 円山駐車場より徒歩5分(075-541-6371)

■ 夜間ライトアップ

期 間:10月21日(金)～12月4日(日)
時 間:17時～22時(受付は21時30分まで)
拝観料:500円※小中高生200円

見どころ

ライトアップされた北庭と南庭の紅葉は、他では味わえない独特の趣。国名勝指定を受けた北庭は男性的な荒々しさがあり、南庭は対照的にしっとりとした女性的な世界をつくり出している。

写真: 荒木 義久

青蓮院

(しょうれんいん)

MAP P4・N-11 地図は全体マップ(P4-5)を参照

淡い光に浮かび上がる京都の歴史ロマン

青蓮院は天台宗の京都五箇室門跡のひとつに数えられる格式高いお寺。天明の大火で御所が炎上したおり仮御所になったことから、“粟田御所”とも呼ばれている。日本三大不動に数えられる国宝・青不動明王二童子像が祀られている他、池泉回遊式の庭園を彩る紅葉が楽しめるライトアップ拝観も見応え十分。

- 📍 京都市東山区栗田口三条坊町69-1 📞 075-561-2345
- 🕒 9時～17時(受付は16時30分まで) 🏠 無休
- 💎 500円※小中高生400円、小学生5名以上200円、親同伴小学生無料※9月28日(水)～12月28日(水)の御開帳期間は特別拝観料となり、大人1000円(お守祈願料込み)、中高生400円(お守なし)。
- 🚗 5台(無料)
- 🚶 岡崎公園駐車場より徒歩5分(075-761-9617)

■ 夜間ライトアップ

期 間:10月28日(金)～12月4日(日)
時 間:18時～22時(受付は21時30分まで)
拝観料:同上(特別拝観料)

見どころ

青蓮院のライトアップの魅力は、何といっても池泉回遊式の庭園に浮かび上がる紅葉。明るさを抑えた照明が、昼とはまったく異なる美しさを表現します。

天龍寺塔頭 宝厳院

(ほうごんいん)

MAP P5・B-10 地図は全体マップ(P4-5)を参照

嵐山の景色にどけ込む芸術的な美しさ

臨済宗大本山天龍寺の塔頭寺院のひとつで、寛正2年(1461)に室町幕府の管領だった細川頼之によって、天龍寺開山夢窓国師の第三世法孫 聖仲永光禪師を開山に迎え創建された。江戸時代の京都の名所案内記である『都林泉名勝図会』にも紹介された策彦禪師作の庭園は、嵐山を借景とした回遊式山水庭園として知られている。

- 📍 京都市右京区嵯峨天龍寺芒ノ馬場町36 📞 075-861-0091
- 🕒 9時～17時 🏠 無休
- 💎 500円 小中学生300円(宝厳院・弘源寺割引共通券は800円です)
- 🚶 嵐山観光駐車場より徒歩5分(075-861-1215)
- 🚶 京福電車「嵐山」下車、阪急電車「嵐山」下車

■ 夜間ライトアップ

期 間:11月11日(金)～12月4日(日)
時 間:17時30分～21時(受付は20時30分まで)
拝観料:600円※小中学生300円

■ 秋の特別公開

期 間:10月1日(火)～12月11日(日)
時 間:9時～17時
拝観料:500円※小中学生300円

見どころ

日本の名園のひとつである「獅子吼の庭」では、嵐山の自然を活かした美しい紅葉を堪能できる。

写真: 水野 克比古